

## 文化交流委員会より留学生との交流会参加のお誘い

2022年10月、文化交流委員会では留学生との交流会を企画しています。

コロナ禍下ではありますが、日本の伝統芸能、狂言と能を鑑賞し、留学生との交流を含めてご参加いただける会員の皆様を募集します。留学生たちは日本語習得にとっても熱意を持っておりますので、基本的に日本語で交流ができます。もちろん英語でも、留学生の母国語でも、ご歓談ください。

皆様お誘いあわせてご参加いただけますよう、ご検討をお願いいたします。

支部の皆様におかれましては、地元の留学生にもお声がけください。一緒でのご参加も大歓迎です。

### 「狂言・能」鑑賞会

約1300年の歴史を持つ「狂言・能」の鑑賞会を国立能楽堂で行います。

当日は交流会を兼ねた昼食後に、狂言と能を鑑賞します。冒頭に作家・国文学者の林望氏から解説「能楽案内」があります。公演の鑑賞後は、能楽堂研修用舞台で「リンボウ先生の能楽講座」があります。

2022年(令和4年)10月8日(土) 10:30 国立能楽堂正面入口集合

会費：7,000円(昼食代・鑑賞チケット代を含む)

10:50~11:55	レストラン向日葵(能楽堂内)にてランチ交流会
13:00	能楽案内 解説：林望
13:30~15:30	狂言「狐塚」 能「花筐」 (字幕付 日本語・英語)
15:30~	能楽堂研修用舞台へ移動
16:00~17:30	リンボウ先生の能楽講座



### 演目・演者

狂言 狐塚 (きつねづか)

大藏 教義 (大蔵流)

田へ鳥追いにやられた太郎冠者が、夜になって臆病になり、見舞いに来た主人と次郎冠者を狐と思い込んで縛る。

能 花筐 (はながたみ)  
(観世流)

松山 隆雄

越前国にいた大迹辺皇子(のちの継体天皇)は即位のため、照日の前に形見の花筐を贈って上京する。照日の前は物狂いとなって都へ行き、行幸の行列の前に出て天皇と再会する。



国立能楽堂 (渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1)

JR	総武線	千駄ヶ谷駅	下車	徒歩	5分
都営地下鉄大江戸線	国立競技場駅	下車	A4出口	徒歩	5分

申込みは FAX に

「タイトル(狂言・能鑑賞会申込)・支部名・氏名・人数・連絡先電話番号」を記入し、  
大学女性協会事務所まで FAX：03-3358-2889 申込み〆切： 9月6日